

## 【NEWS RELEASE】

2019年5月8日

各位

株式会社三井住友銀行

横浜市における資源循環型エコサイクル構築に向けた取組開始について

横浜市(市長:林 文子)と株式会社三井住友銀行(頭取CEO:高島 誠、以下「三井住友銀行」)は、横浜市が計画するSDGs未来都市の実現にむけた取組の一つとして、資源循環型エコサイクル構築に向けた協力を開始致します。

また、上記取組を含め、横浜市のSDGs未来都市実現に向けた取組を相互に協力して推進するため、2019年4月25日付で、「SDGs未来都市・横浜の実現にむけた連携協定」を締結しました。

1. 取組概要

環境省の発表によると、日本国内における2015年度の食品廃棄物等は約2,842万トンと推計されており、横浜市においても、食品廃棄物の処理・循環は重要な政策課題の一つと認識されています。

また、横浜市は内閣府よりSDGs未来都市に選定されており、環境・経済・社会の三側面における課題解決に向けた取組を推進しております。

三井住友銀行は、上記認識を踏まえ、SDGs未来都市の実現に資する資源循環型エコサイクル構築のため、当該取組に資する技術を持つ企業や関心を持つ企業と横浜市とのコーディネート、金融面での支援等を通じ、持続可能なまちづくりに貢献します。

2. 連携協定について

横浜市はSDGs未来都市実現のため、「ヨコハマSDGsデザインセンター( )」を中心に、市民・企業・大学等と連携しSDGsへの取組を進めています。

本協定により、横浜市と三井住友銀行が、「SDGs未来都市・横浜」の実現に向け、相互連携することで、環境・社会・経済面の課題解決に向けたモデル事業の創出・推進に取り組み、持続可能な地域社会の発展に貢献します。

( )市や民間企業者等、多様な主体の協働により、環境・経済・社会の三側面で相乗効果を生み出し、社会課題解決を図る横浜型「大都市モデル」を創出する仕組

3. 連携・協力事項

- (1) 資源循環型エコサイクル構築及び関連取組の実施による持続可能なまちの実現に関する事
- (2) 農に関連する様々な要素を取り入れたコミュニティの活性化・食育・健康づくり、多世代交流の場の創出に資する取組に関する事
- (3) その他、横浜市におけるSDGs未来都市の実現に向けた支援に関する事

三井住友銀行は地域の活性化をサポートするため、地方公共団体と連携し、様々なサービスを提供して参ります。

以上